



〒399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4

TEL (0263) 53-8802 FAX (0263) 51-1290 E-mail :kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp

目次

総合教育センター研究発表会

参加申込み、送迎バス等御案内・・・・・・・・・・ 1

第3次案内ダイジェスト版・・・・・・・・・・ 2

教科教育部より

① 今年度の教科学習の総まとめに

「春休み課題帳」をリニューアルしました！・・・・ 4

② 「クリア問題数学」「チャレンジ問題数学」

2月号に“確認類題”を加えました！・・・・・・ 5

平成26年2月21日(金)

長野県総合教育センター研究発表会



☆参加申込み〈締切り平成26年2月14日(金)〉

※3次案内チラシと申込み用紙は各校へ郵送しました。

※申込み用紙でカンタンFAXお申込み！（半日参加も歓迎）

FAX(0263)51-1290

※申込み用紙は総合教育センターのホームページからもダウンロードできます。

<http://www.edu-ctr.pref.nagano.lg.jp/>

☆参加費用は無料です。

※小中学校教職員の皆様の旅費は、センターが負担します。



☆送迎マイクロバスの運行(無料)

※事前申込みが必要です。

上記ホームページから利用申込書をダウンロードしてください。

送迎バス運行スケジュール

行き	9:00 発	高速バス「広丘野村」(下り線停留所の階段下)
	9:15 発	JR 塩尻駅 東口 (バス整理場)
帰り	16:20 発	総合教育センター
	16:30 着	高速バス「広丘野村」
	16:45 着	JR 塩尻駅 東口

《第3次案内》から全体会と各部ごとの発表を御紹介します。

◎講演会(9:50~11:10) 会場:講堂

演題:「対話」で深める授業の考え方と方法

～みんなで学び共に伸びる授業の実現を願って～

講師: 上杉 賢士氏 (グリーンヒルズ小中学校長・前千葉大学大学院教育学研究科教授)



教師が一方向的に伝達する授業から、子どもたちの話し合いによる授業へ。授業を実りあるものにするために、私たちが願い続けてきたことです。それでは、「話し合い」はどうすれば活性化し実りあるものになるでしょうか。この講演では、「話し合い」に関する最先端の方法としての「対話(ダイアログ)」について紹介します。

「対話」では、優劣や勝敗を決めるのではなく、それぞれの意見を持ち寄ってみんなで力を合わせてできるだけ真実に近づこうとします。そのため、異なる感性や意見の持ち主が集まる方が好都合だと考えられています。実践例を交えて具体的に紹介しますので、どうぞお楽しみに。(上杉)

◎全体発表(11:20~12:00) 会場:講堂

教員の資質向上及び協働型の学校組織の構築

～ヒューマンエラーを未然に防ぐ校内研修のあり方～

対人関係能力の向上のためのスキルトレーニングとしてアンガーマネジメントの手法を活用した校内研修の進め方について提案します。また、協働型の学校組織を構築するにあたり、メンター制度を活用した取組を行っている他県の事例を紹介しながら校内の活性化策について考察します。



生徒指導・特別支援教育部

会場:生涯学習研修室(1階)

◎分科会1(13:00~14:30)

■ 研究発表

- 児童生徒理解とチーム支援のための事例検討研修
- 人間関係づくり ちょっと! アイデア集

■ 研修派遣教員が取り組んだ研修成果の発表

- 児童理解とチーム支援
- 予防的・開発的な生徒指導の視点を生かした学校ランドデザイン
- 安心して安定的な対人関係を構築するために



◎分科会2(14:40~15:40)

■ 研究発表

- 通常学級における文字学習入門期の丁寧な指導を目指して
- 授業のユニバーサルデザイン化に向けて

◎分科会3(15:45~16:15)

■ 役立つ情報の紹介

- 生徒指導や特別支援教育に関わるポータルサイト



教科教育部

会場:第5研修室(3階)

◎分科会1(13:00~14:30)

- 全体発表 思考力・判断力・表現力等の「評価」を、こう進める
- 教科別ワークショップ

参加される先生方の希望により、各教科に分かれて、ワークショップを行います。

各教科の特性に基づく「思考力・判断力・表現力等の評価」をどのようにとらえ、評価していくのかを考え合いましょう。

国語	「『書くこと』の評価の実際 ～評価規準の明確化を目指して～」
社会	「単元を意識した社会科の評価方法の工夫 ～学びの過程が見える学習カード～」
算数	「数学的な考え方を深めるための評価を生かした共同追究の具体」
数学	「評価問題からさかのぼって組み立てる数学授業の実際」
理科	「子どもの科学的な思考を育む評価の実際」
生活	「子どもの活動の姿や作品から気付きの質の変化を見とどける評価の具体」
中学英語	「適切さに着目した『話すこと』の指導と評価」
高校英語	「思考力・判断力・表現力を育み、評価につながる発問の工夫」
音楽	「『音楽表現の創意工夫』（第2観点）の評価の実際」
図工美術	「子どもの鑑賞の能力を伸ばす評価方法と発問の工夫」
技術	「回路設計の授業で育む、思考力・判断力・表現力」
家庭	「思考力・判断力を育む製作・実習と評価」



◎分科会2(14:40~15:40)

ICTで授業がどう変わるのか -今、これから、未来-
 ICT機器を使った学習の姿を、体験を通して知っていただきます。

今の授業に加えれば、分かりやすさがアップ
 実物投影机でどの子にも分かりやすい、視覚的な情報提供を

これから こんな授業づくりをしてはどうでしょうか
 写真や動画を使った、児童生徒にとって魅力ある教材作成

未来 はこんな形で学びの可能性が広がります
 タブレット端末とIWB（インタラクティブホワイトボード）を使った協働学習

情報・産業教育部

会場:第1研修室(2階)

◎分科会1(13:00~14:30)

- 産業教育教材開発研究の発表
 - <家庭科> 家庭科教育におけるICT活用
 - <工業> 工業技術教材の研究
 - <商業> 教科「商業」における情報モラルとセキュリティ
 - <農業> 「農業と環境」地域資源を活用した教材開発



◎分科会2(14:40~15:40)

- 産業教育長期研修の発表
 - <工業> 生徒に興味を持たせるためのものづくり教材の製作
 - <農業> 情報ソフトの操作深化とその応用の自作教材の研究
 - <商業> 珠算教育の可視化



◎分科会3(15:45~16:15)

- 産業教育事業報告会

2月10日(月)より配信スタート!



「春休み課題帳」をリニューアルしました!

～今年度の教科学習の総まとめに、ぜひご活用を～

昨年度、配信を始めた「春休み課題帳」(国語、算数・数学、理科)をリニューアルしました。「知識・技能と思考力を問う問題をさらにバランスよく」「思考力を問う問題をなるべく新しいものに」などの、学校の先生方の声に応じて、各教科で次のように修正・改善をしました。どの教科も10日分の内容で構成されています。子どもたちが自信をもって新年度のスタートを切れるように、「春休み課題帳」リニューアル版をぜひご活用ください。

中学2年 数学 10

オリンピックで日本チームが金メダルをとったスキージャンプ競技に興味をもちました。この競技では、飛んだ距離の大きさと姿勢の美しさを競います。

美咲さんは、このときの日本チームの原田雅彦選手と船木和喜選手の飛んだ距離の記録について調べました。右の2つのヒストグラムは、1998年シーズンの長野オリンピックまでのいくつかの国際大会で、二人が飛んだ距離の記録をまとめたものです。たとえば、このヒストグラムから、二人とも105m以上110m未満の距離を3回飛んだことが分かります。

原田選手の記録

距離(m)	65	70	75	80	85	90	95	100	105	110	115	120	125	130	135	140
回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1

船木選手の記録

距離(m)	65	70	75	80	85	90	95	100	105	110	115	120	125	130	135	140
回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

算数・数学 (対象学年：小4～中2)

思考力を問う全国学力調査問題や、C調査で課題が見られた問題を掲載!

国語 (対象学年：小5・中2)

思考力を問う問題として、最新の全国学力調査問題を掲載!

【広告】

「小島さんのノートの一部」

「この広告には、駅の手組みで自由な方に注意」などと、再考を促す内容が掲載されています。

2 編集の持ちようをどうえよう

小島さんは、駅にはおはらいの「注意」を見て、あたふたして立ちどまらされた。「小島さんの1日の生活」の「アイ」の中にある「注意」をどうもわかってもらいたくない。あんなに「注意」の中からは、おはらいの「注意」をどうもわかってもらいたくない。

「ひと言マナー」はじめよう。

①

②

「おはらい」の中の「注意」には、心づかいを付けてあります。

月 日

理科 (対象学年：小5・中2)

思考力を問う問題に加えて、各分野の基礎・基本の問題を掲載!

7 電流のはたらき

(5年教科書p.110～131)



やった日(月 日 曜日)

◇ たしかめよう

1 電じ石を作りました。次の問いに答えましょう。

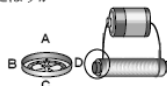
(1) 右の図で、くぎがたくさんつく場所に○をつけます。



(2) 電じ石に方位じしんを近づけると、Aを指していたはりがBを指しました。

① 右の図の○はS極ですか。N極ですか。

解答らん: _____



② かん電池のプラスとマイナスを入れかえると、方位じしんのはりはA～Dのどの方向を指しますか。 解答らん: _____

(3) かん電池を2本直列につなぎました。電じ石につくくぎの本数は(1)の時とくらべて、どうなりますか。

解答らん: _____



学年や教科の学習状況に合わせて、いろいろな活用の仕方が!

- 「春休み課題帳」を全面的に活用
- 市販の休み帳や受験用参考書からの課題に加えて、「春休み課題帳」の思考力を問う問題などを“チョイ足し”
- 2, 3月のドリル学習や補充学習に、「春休み課題帳」を1日分ずつに分けて活用

ダウンロードはここから...

長野県総合教育センター
トップページ

■教育情報
◆春休み課題帳

中学校数学科の先生方へ

「クリア問題数学」「チャレンジ問題数学」2月号に
“確認類題”を加えました!



～C調査で課題が見られた問題に再挑戦しませんか～

2月3日(月)より配信スタート!

11月に行われたC調査の全県集計結果が公表され、定着に課題が見られる問題が明らかになりました。今年度中に学び直しの機会をつくり、定着を見とどけて進級させたいものです。

総合教育センターでは、課題が見られた問題の“確認類題”を、「クリア問題数学」「チャレンジ問題数学」の2月号に、以下のように加えました。どれも、全県平均正答率が50%未満だった問題です。ぜひ、ひと味ちがう「クリア問題」「チャレンジ問題」2月号をご活用ください。

＜クリア問題数学(中1) 2月号＞

② 下にあげた4つの式で、●は、負の数を表しています。計算の答えが●の表す数より大きくなるものを、下のア～エからすべて選んで、その記号を書きなさい。
 [ア ●÷3 イ ●×3 ウ ●÷0.5 エ ●×0.5]

C調査 中1【3】(正答率28%)の類題

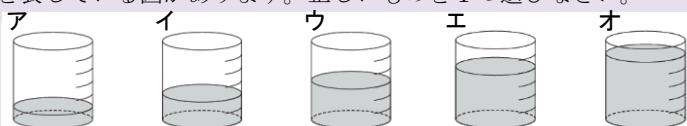
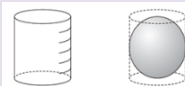
●に具体的な数を入れて確かめるなどして、負の数の計算における積・商の大きさが確実に理解できるようにしましょう。

C調査 中2【5】(正答率46%)の類題

体積を求めて比較できるようにするために、球が円柱にぴったり入っていることから球の直径と円柱の高さが等しいことを見いだすことがポイントです。さらに、円柱と球だけでなく、ぴったり入る円錐の体積もあわせて比較すると、円錐：球：円柱＝1：2：3というきれいな比になります。

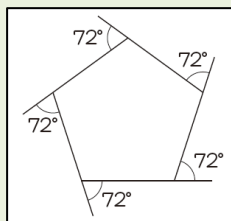
＜クリア問題数学(中2) 2月号＞

④ 右の図のように、底面の直径と高さが等しい円柱の容器と、この円柱の容器にぴったり入る球があります。この円柱の容器には、高さを6等分した目盛りがついています。この円柱の容器に、球の体積と同じ量の水を入れます。このとき、下のア～オまでの中に、球の体積と同じ量の水を表している図があります。正しいものを1つ選びなさい。



＜チャレンジ問題数学(中2) 2月号＞

① 健さんと愛さんは、多角形の外角の和が360°であることをもとに、正多角形の1つの外角の大きさについて調べ、頂点の数と1つの外角の大きさについて調べます。



(2) 正多角形の1つの外角の大きさについて、「正多角形の頂点の数を決めると、それにともなって正多角形の1つの外角の大きさがただ1つ決まる」という関係があることが分かります。

下線部を 次のように表すとき、とに当てはまる言葉を書きなさい。

は の関数である。

C調査 中2【6】(正答率22%)の類題

関数を変化だけでなく、対応に着目して考えることが大切です。「xを決めると、それに伴ってyがただ1つ決まる」とき「yはxの関数である」と関数を定義することを再確認しましょう。

ダウンロードはここから…

長野県総合教育センター
 トップページ

教育情報
 ◆クリア・チャレンジ問題

学校の実態に合わせて「クリア問題」「チャレンジ問題」を活用しましょう!

- 授業の中で学び直しの時間を設けて指導し、授業の終末に見とどけの問題として活用する。
- 家庭学習として持ち帰らせ、次の授業の中で解説したり、さらに補充指導したりする。
- ドリルの時間に活用して定着の状況を確認、不十分ならば家庭学習として取り組ませる。

「クリア問題」「チャレンジ問題」は、これまでに配信した問題も常にダウンロードできるようになっています。学校の実態に合わせて教科会で活用方法を検討してみてください。